

「HEIWA no UTA～A Song of Peace～」を 「うたごえ新聞」が紹介！

宇治共同作業所のびのび班が作った「へいわのうた」の英語版ができ、YouTubeにもアップされていますが、このたび全国版業界紙「うたごえ新聞」に楽譜が掲載されました。楽譜の下には短い「紹介曲解説」が載っていますが、一部事実と異なっていますので、この際「西宇治中分会ニュース」から＜春の教研閉会挨拶＞を転載し、詳しいいきさつを皆さんに知ってもらいたいと思います。

2月の終わり、定期大会の直前に始まったロシアによるウクライナ侵攻が2ヶ月近くたった今も続いています。何の罪もない多くの人々が無法な暴力の犠牲になっています。

さて、宇治共同作業所のびのび班が作った「へいわのうた」をご存じでしょうか。車椅子を利用している12名の「仲間」の1人「のぶ君」がつぶやいた言葉を元に仲間みんなの言葉をつなぎ合わせてできた歌です。みんなで昼ご飯を食べているとき、言語障害があるのぶ君が「あのなあ、ぼく、きのう、NHKで、じらいで、あしをふきとばされたことものニュースみたんや」と話し出しました。「あるけへんのは、ほんとうにつらいことなんやで」「子どもやのに、かわいそうや」とつぶやいたのです。その日の午後、「地雷はあかん」「戦争はあかん」「子どもには、バクダンよりごはんが大事や」と、みんなの声が続きました。そうして「へいわのうた」が作られました。

以来、いろんなところでこの曲が歌われ、日本中に広まっていきました。ところが、先日ウクライナの報道が話題になったとき「世界中の人に届けるには、日本語ではだめやで！」ということになり、誰かに英語の歌詞をつけてもらうことになりました。

3月20日（日）の朝、僕の携帯電話が鳴りました。そして生まれて初めて日本語歌詞を英訳するという難題をいただきました。自信はありませんでしたが、作業所の皆さんの熱意に押され、引き受けました。

その日のうちに英訳に取りかかり、翌日には訳詞と音源が完成しました。その後、作業所との間でメールや電話でやりとりをして何カ所か歌詞を書き換え、音源も作り直し、まさに「共同作業」でその週のうちにYouTubeに動画をアップロードするところまでこぎ着けることができました。



こうして完成した「HEIWA no UTA ～A Song of Peace」オリジナル版 公式版

紹介曲

HEIWA no UTA ～A Song of Peace～

Author:Ujikyoudousayousho Nobinobi-Group
宇治県国体運動会の子のうた制作団
Translation:Masahiro Tanaka



～(訳詞:Masahiro Tanaka)」はこの2週間あまりで300回以上再生されています。

戦争で真っ先に犠牲になるのは、お年寄りや子ども、病人、障害者など、弱い立場の人々です。そして戦争は新たな障害者を大量に生み出します。そんな弱い立場の「仲間」が世界に向けて「せんそうはあかん」と声を上げているのです。

戦争是最悪の人権侵害です。日本国憲法前文には「われらは全世界

の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。」「日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ。」とあります。私たち、教職員組合は「教え子を再び戦場に送るな」を合い言葉に、様々な活動を行ってきました。

来週の火曜日にも定例の駅頭宣伝を計画しています。のび

のび班に負けずに、これからも「戦争反対」「憲法守れ」の声を上げ続けていきたいと思っています。

(4/15春の教研閉会挨拶 執行委員長・田中正浩)

今月も平和アピール宣伝



アピールする下村書記長

た。

立ち止まって話を聞いてくれる人、横断幕に目をやる人も多く、50人ほどの人がチラシを受け取っていただきました。

3月に続いて今月も平和アピール宣伝を行いました。(4月19日)

戦争反対！ロシアはすぐに武力攻撃をやめて話し合いで解決せよ！

この機に乗じた改憲策動を許すな！

近鉄大久保駅利用者、通行人にスピーチと歌で訴えまし



グッデイが歌でアピール

京教済

月々600円の掛金で結婚祝金に10,000円など、色々な給付退職時には掛金が全額戻ります！